

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業

(目次)

⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金事業の概要	2- 1		
ア みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	2- 3		
イ みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	2- 17		
ウ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業	3- 1		
四日市市	4- 1	伊勢市	19- 1
桑名市	5- 1	鳥羽市	20- 1
鈴鹿市	6- 1	志摩市	21- 1
亀山市	7- 1	玉城町	22- 1
いなべ市	8- 1	度会町	23- 1
木曽岬町	9- 1	大紀町	24- 1
東員町	10- 1	南伊勢町	25- 1
菰野町	11- 1	名張市	26- 1
朝日町	12- 1	伊賀市	27- 1
川越町	13- 1	尾鷲市	28- 1
津市	14- 1	紀北町	29- 1
松阪市	15- 1	熊野市	30- 1
多気町	16- 1	御浜町	31- 1
明和町	17- 1	紀宝町	32- 1
大台町	18- 1		

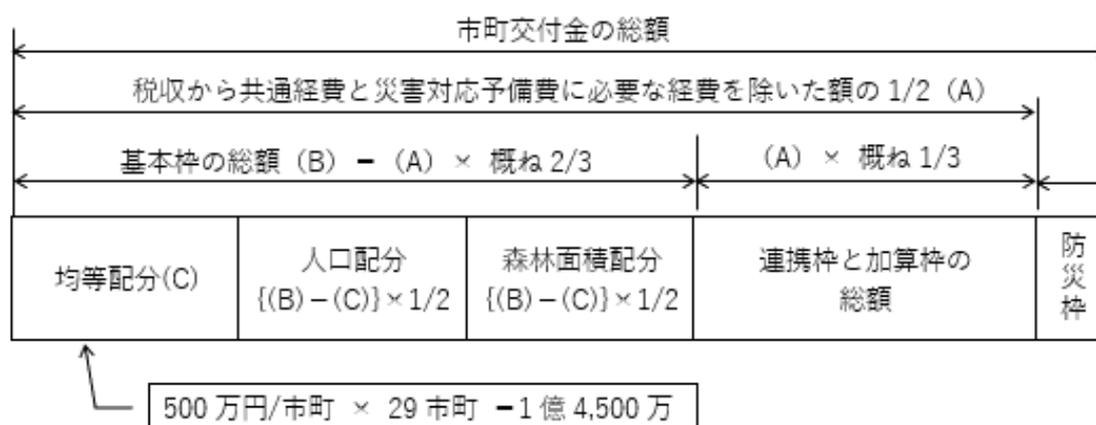
みえ森と緑の県民税市町交付金事業の概要

この事業は、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨（以下「趣旨」と言う。）に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開すること、また県と市町が連携して課題解決に取り組むことができるよう、予算の範囲内でみえ森と緑の県民税市町交付金（以下「市町交付金」と言う。）を交付するものです。

1. 市町交付金の総額

毎年度のみえ森と緑の県民税の税収から共通経費や災害対策予備費を除いた残りの概ね半分※の「基本枠」「加算枠」及び「連携枠」と、災害対策予備費の一部の「防災枠」を市町交付金の総額とします。

（※5年間の総額で、県：市町を概ね5：5とする。）



2. 市町への配分方法

市町交付金には、森林面積や人口を算定基礎として一定のルールに従って配分する「基本枠」と、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分する「連携枠」、森林面積が寡少（100ha未済または森林率が10%未済）な市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分する「加算枠」があります。

基本枠の総額と連携枠と加算枠を合算した額の割合は、概ね2：1の割合とします。

また、令和2年度より、台風等による倒木からライフラインを保全し、県民の安全・安心な生活を守るため、「防災枠」を創設しました。

基本枠	<p>均等配分として、各市町へ均等に一定額（500万円）を配分し、残りを人口配分（市町の人口割合に応じて配分。）と、森林面積配分（市町の森林面積割合に応じて配分）の3つの配分方法を組み合わせで配分しますが、この時の配分率割合は人口：森林面積＝5：5とします。</p> <p>この考え方に基づいて算出された額を毎年度当初に県から全ての市町に内示し、交付を受ける市町は、県に交付申請します。</p>
------------	---

連携枠	<p>面的な森林整備や獣害対策など、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分します。</p> <p>交付を希望する市町は、事業実施前年度に県に希望する事業量を申請します。県は申請内容を審査し、配分額を決定します。</p> <p>新年度（＝事業実施年度）当初に県から該当市町に交付額を内示し、これを受け、市町が県に交付申請を行います。</p>
加算枠	<p>森林面積が寡少（100ha 未満または森林率が 10% 未満）の市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分します。</p> <p>交付を希望する市町は、事業実施前年度に県に申請書を提出します。県は申請内容を審査し、その結果を市町に通知します。</p> <p>新年度（＝事業実施年度）当初に県から該当市町に交付額を内示し、これを受け、市町が県に交付申請を行います。</p> <p>なお、加算枠には 5 年間の申請上限額を設け、その額を 1,000 万円とします。</p>
防災枠	<p>防災面から県と市町が連携して取り組むライフラインを守る事前伐採に対し、市町からの要望に応じて配分します。</p> <p>交付を希望する市町は、事業実施前年度に県に希望する事業量を申請します。県は申請内容を審査し、配分額を決定します。</p> <p>新年度（＝事業実施年度）当初に県から当該市町に交付額を内示し、これを受け、市町がライフライン事業者及び県との三者協定に基づく協議会で承認された実施計画を基に、県に交付申請を行います。</p>

3. 市町交付金の使い途

1) 事業実施の 3 原則

事業の実施に当たっては、次の 3 つの原則全てを満たさなければなりません。

事業実施の 3 原則	
【原則 1】	「2 つの基本方針と 5 つの対策」に沿った内容であること。
【原則 2】	新たな森林対策として実施する新規又はこれに準ずる取組であること。なお、税導入以前から取り組まれている事業の場合は、新たな視点を取り入れた対策とすること。
【原則 3】	直接的な財産形成を目的とする取組でないこと。

2) 森林環境譲与税との関係

みえ森と緑の県民税と森林環境譲与税を活用した事業の相乗効果を期待し、双方を有効に活用するため、市町交付金と森林環境譲与税を同一事業に充当することはできません。

3) 市町における基金設置について

市町は、次の見直しまでの期間、交付金事業の財源に充てるための基金を設置することができます。

流域防災機能強化対策事業

「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」を進めていくため、山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を、市町と県が連携して取り組み、流域の防災機能の強化を図ります。

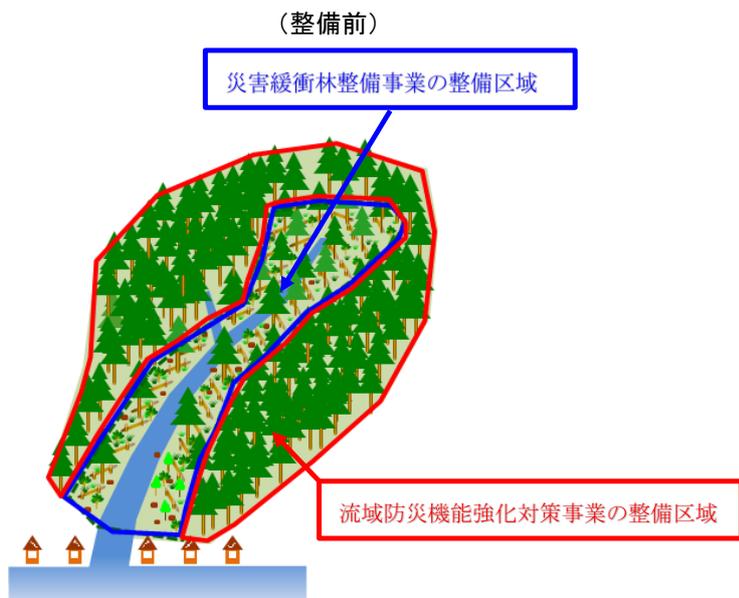
<事業対象区域>

県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

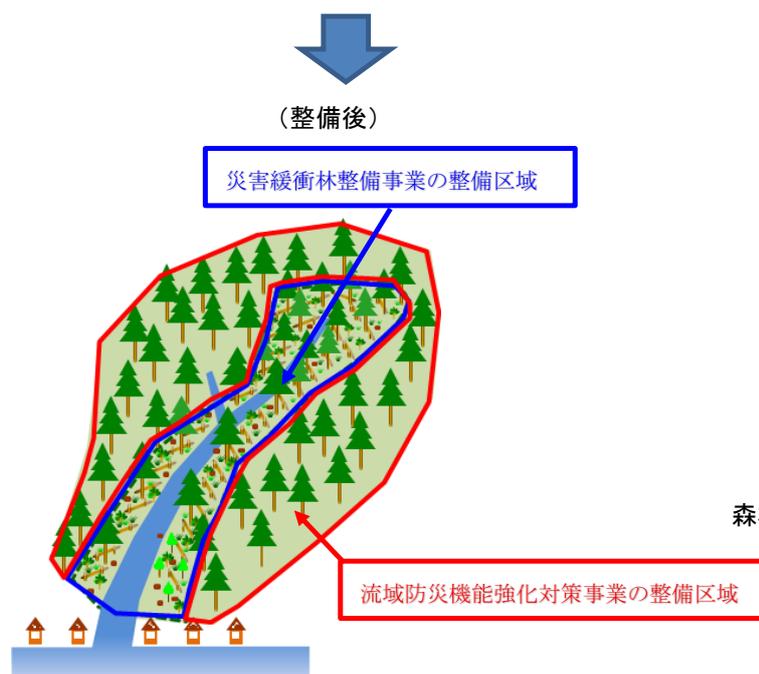
<事業の内容>

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

<整備のイメージ>



整備前のイメージ
根系や下層植生の発達が不十分



整備後のイメージ
森林整備の実施により、根系や下層植生が発達

流域全体の防災機能を強化

森林再生力強化対策事業

林業の生産活動による緑の循環を実現する中で、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能を高度に発揮させていくため、森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行う ICT 等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林の再生を妨げている野生獣による被害の抑制を図ります。

獣害防止施設等整備

<事業の内容>

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施



防護柵設置のイメージ

的確な獣害防止対策の実施

ニホンジカの捕獲等

<事業の内容>

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT 等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT 等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施



捕獲のイメージ
自動撮影カメラによる遠隔監視

効果的な捕獲による被害軽減

植栽地の確実な更新

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業（連携枠）実施結果

市町	流域防災機能強化対策事業		森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)		森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)	
	事業量	連携枠交付額	事業量	連携枠交付額	事業量	連携枠交付額
津市	79.67ha	41,000,000	5,527m	4,551,000		
松阪市	12.77ha	5,286,600	8,373m	3,634,950		
多気町	10.94ha	3,110,800	924m	446,859		
大台町	116.82ha	35,874,000	3,961m	3,091,000		
度会町	31.00ha	10,721,000				
大紀町	10.27ha	7,200,000	356m	214,000		
志摩市	11.47ha	3,256,000				
伊賀市	44.65ha	16,808,000				
名張市	39.70ha	13,497,000				
尾鷲市	2.85ha	3,733,400	966m	627,000		
紀北町	7.10ha	1,791,979	4,627m	2,600,478		
熊野市	7.16ha	4,409,900	2,457m	2,278,647		
紀宝町	12.73ha	7,200,000				
計	387.13ha	153,888,679	27,191m	17,443,934	0	0

事業別業費

流域防災機能強化対策事業	153,888,679 円
森林再生力強化対策事業	17,443,934 円

流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例 1 度会町

整備前



整備後



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例2 志摩市

整備前



整備後



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例3 大紀町

整備前



整備後



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例4 伊賀市

整備前



整備後



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例5 伊賀市

整備前

整備後



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例6 名張市

整備前

整備後



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例7 津市

県民税 P R 標柱設置



県民税 P R 標柱設置



流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例8 大紀町

県民税 P R 標柱設置



県民税 P R 標柱設置



森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

事例1 津市

伐採作業中



獣害防止施設設置後



森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

事例2 津市

獣害防止施設設置作業



獣害防止施設設置後



森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

事例3 松阪市

獣害防止施設設置前



獣害防止施設設置後



森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

事例4 多気町

獣害防止施設設置前



獣害防止施設設置後



森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

事例5 大台町

整備前



整備後



森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

事例6 大台町

整備後点検状況



整備後点検状況



県民税市町交付金（連携枠）事業 ポスター展示

県庁（県民ホール）



マルタピア



県民税市町交付金（連携枠）事業 ポスター展示

県庁展示ポスター

みえ 森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業の取組

令和元年度から、「みえ森と緑の県民税」を活用した「災害に強い森林づくり」をさらに進めるため、流域の防災機能を強化する面的な森林整備や獣害対策などの課題に県と市町が連携して取り組んでいます。

流域防災機能強化対策事業

山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれのある深流沿いの森林において、流域の防災機能を強化するための森林整備に取り組み、「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」を進める市町を支援しています。

事業の整備イメージ

整備前 → 整備後

流域防災機能強化対策事業の整備区域

流域森林整備事業の整備区域

事業実績

実施年度	整備面積	実施市町数
令和元年度	301.5 ha	11市町
令和2年度	271.47 ha	13市町

多気町（整備前） 多気町（整備後）

森林再生力強化対策事業

二ホンジカ等の野生獣による植栽木の食害被害により、森林の再生が妨げられ、森林の有する土砂流出防止等の公益機能が発揮できなくなります。野生獣による被害を抑制するため、新植地等への獣害防止施設の整備の支援や、ICT等の技術を用いた二ホンジカの捕獲効果検証を実施する市町を支援しています。

獣害防止施設等整備

二ホンジカ等の野生獣による植栽木の食害を防止するため、森林所有者等が行う獣害防止柵等の設置に対して、市町と連携して支援を行っています。

松阪市（設置前） 松阪市（設置後）

事業実績

実施年度	獣害防止施設等設置延長	実施市町数
令和元年度	35,155 m	7市町
令和2年度	23,137 m	7市町

二ホンジカの捕獲等

新植地等において、ICT（情報通信技術）等の最新技術を活用した二ホンジカの捕獲について、市町が効果検証を行っています。

熊野市（はこわな設置）

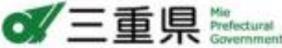
熊野市（センサーカメラ写真）

熊野市（くくりわな設置）

県四日市庁舎



県ホームページにおける情報発信



三重県ホームページ①

< 暮らし・環境
防災・防犯
健康・福祉・子ども
スポーツ・教育・文化
観光・産業・しごと
まちづくり
県政・お知らせ情報
組織・業務

現在位置: [トップページ](#) > [観光・産業・しごと](#) > [森林・林業](#) > [みんなで支える森林づくり](#) > [みえ森と緑の県民税](#) > [みえ森と緑の県民税とは](#) > [みえ森と緑の県民税](#)

担当所属: [県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [みどり共生推進課](#) > [みどり推進班](#)

みえ森と緑の県民税

- [トピックス](#)
- [みえ森と緑の県民税とは](#)
- [県の事業](#)
- [市町の事業](#)
- [県・市町の連携事業](#)
- [評価制度](#)
- [導入経緯と見直し](#)

三重の森林づくり

みえ森と緑の県民税

森林には、きれいな水を貯える機能や地球温暖化の防止、黒土の保全、癒しや健康増進など、私たちが健康で快適な生活を送るために欠かすことのできない大切な働きがあります。

しかし、山村地域の過疎化や林業の不振などにより手入れが不足した荒廃森林が増えています。異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

そこで県では、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、「みえ森と緑の県民税」を平成26年4月1日から導入しました。





↓
下へスクロール

みえ森と緑の県民税

- [トピックス](#)
- [みえ森と緑の県民税とは](#)
- [県の事業](#)
- [市町の事業](#)
- [県・市町の連携事業](#)
- [評価制度](#)
- [導入経緯と見直し](#)

市町で取り組む事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開します。事業内容は「2つの基本方針と5つの対策」に沿って市町が決定します。

この交付金には、「基本枠」「連携枠」「加算枠」「防災枠」4つの配分枠があります。

第1期（平成26年度から平成30年度）みえ森と緑の県民税市町交付金事業

- [第1期 みえ森と緑の県民税市町交付金事業](#)

第2期（令和元年度から令和5年度）みえ森と緑の県民税市町交付金事業

- [みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業](#)

森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等とパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開します。

- **みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業：流域防災機能強化対策事業**
山腹崩壊の発生源となる斜面上部の0次谷の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある渓流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。
[PDF](#) [流域防災機能強化対策事業の概要](#)
- **みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業：森林再生力強化対策事業**
森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いた二ホンシカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公的機能の高度発揮を図ります。
[PDF](#) [森林再生力強化対策事業の概要](#)
- **みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業の取組実績**
[PDF](#) [令和元年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業取組実績一覧](#)
[PDF](#) [令和2年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業取組実績一覧](#)
- **災害からライフラインを守る事前伐採事業（みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業）**
市町がライフライン事業者及び県と締結する協定に基づき、台風等の倒木によりライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採します。
[PDF](#) [災害からライフラインを守る事前伐採事業の概要](#)
[PDF](#) [令和2年度災害からライフラインを守る事前伐採事業取組実績一覧](#)

県ホームページにおける情報発信

流域防災機能強化対策事業

三重県ホームページ②

「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」を進めていくため、山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を、市町と県が連携して取り組み、流域の防災機能の強化を図ります。

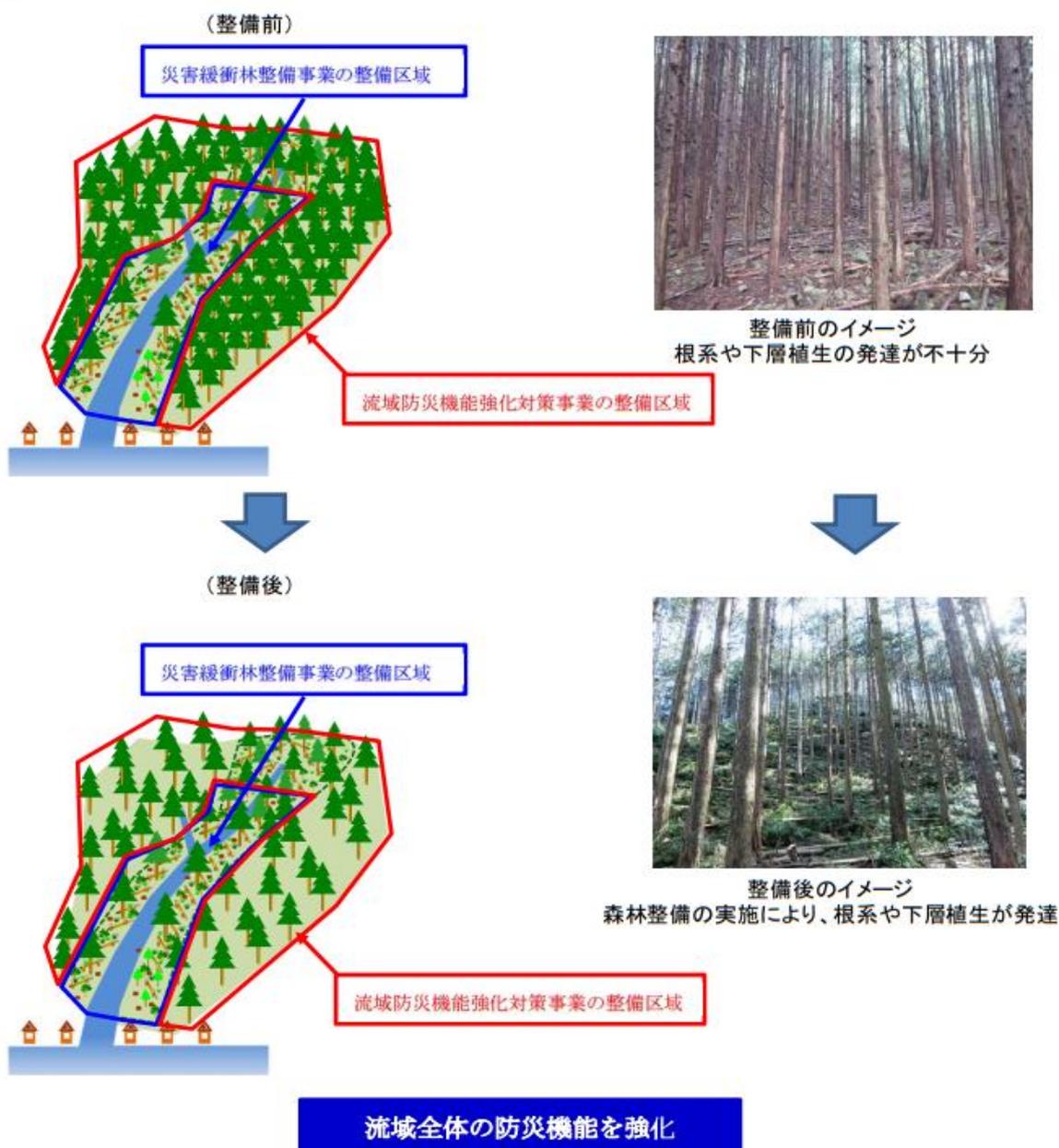
<事業対象区域>

県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

<事業の内容>

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

<整備のイメージ>



県ホームページにおける情報発信

森林再生力強化対策事業

三重県ホームページ③

林業の生産活動による緑の循環を実現する中で、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能を高度に発揮させていくため、森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林の再生を妨げている野生獣による被害の抑制を図ります。

獣害防止施設等整備

<事業の内容>

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施



防護柵設置のイメージ

的確な獣害防止対策の実施

ニホンジカの捕獲等

<事業の内容>

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施



捕獲のイメージ
自動撮影カメラによる遠隔監視

効果的な捕獲による被害軽減

植栽地の確実な更新

災害からライフラインを守る事前伐採事業

1 事業の目的

台風などの倒木被害により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採に、電力会社等のライフライン事業者と連携して取り組む市町を支援し、台風等に伴う大規模停電の未然防止などのライフラインの保全を図ります。

2 事業の必要性

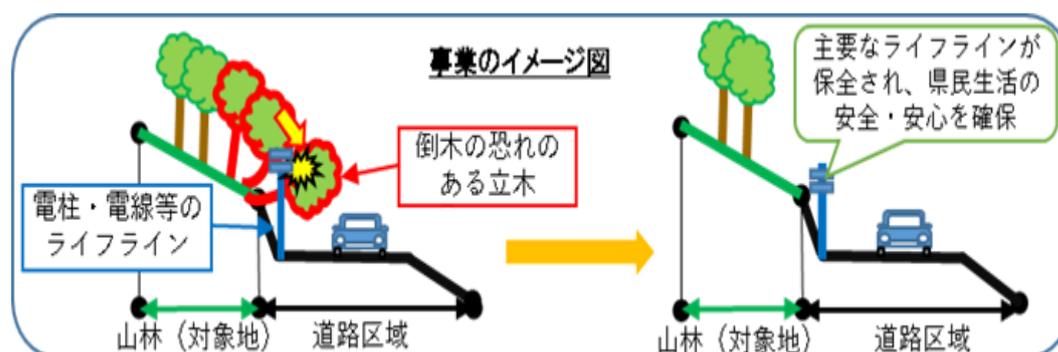
令和元年の台風15号では、千葉県を中心に大規模かつ長期的な停電が発生し、住民生活や地域の経済活動が滞ったうえ、市町の防災システムが機能しない等の甚大な被害が発生しました。また、三重県内においても、平成30年の台風21号では約28万戸で停電被害が発生し、特に山間部では、停電の原因の約80%は倒木によるものでした。

このような被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、災害に強い森林づくりの一環として、市町や電気事業者等のライフライン事業者と連携して、「災害からライフラインを守る事前伐採事業」に取り組む必要があります。

3 事業の内容

停電等のライフラインへの被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、ライフライン事業者と連携して、台風時などの倒木によりライフラインを寸断してしまう恐れのある樹木の事前伐採に取り組む市町に対して、県が事業費の一部を負担するなどの支援を行います。

事業の実施にあたっては、市町・県・ライフライン事業者の三者で、相互の連携による事業の円滑な実施を目的とした協定を締結することとしています。また、この協定に基づき、三者が構成員となった協議会を設置し、市町が作成する事業計画についての協議や他事業との調整などを行い、事業を進めていきます。



令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業（防災枠）の実施結果

市町	事業量 (見込み)	事業費		備考
		総事業費 (円)	防災枠交付金額 (円)	
四日市市	48本	6,245,800	1,561,450	R3. 2. 17 三者協定締結
鈴鹿市	6本	2,948,000	737,000	R3. 3. 24 三者協定締結
亀山市	60本	1,221,000	305,250	R3. 7. 1 三者協定締結
菰野町	14本	982,085	245,521	R2. 10. 8 三者協定締結
津市	535本	11,379,051	2,844,762	R2. 11. 20 三者協定締結
松阪市	1,007本	12,198,977	3,000,000	R2. 7. 22 三者協定締結
多気町	69本	1,188,000	275,000	R3. 5. 6 三者協定締結
大台町	608本	14,159,707	3,539,000	R2. 4. 14 三者協定締結
度会町	364本	3,877,961	969,000	R3. 9. 8 三者協定締結
名張市	200本	3,711,400	927,850	R2. 8. 17 三者協定締結
計	2,911本	57,911,981	14,404,833	

令和 3 年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

松阪市

実施前

実施後



松阪市

実施前

実施後



令和 3 年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

大台町

実施後



実施後



名張市

実施前



実施後



令和 3 年度災害からライフラインを守る事前伐採 実施状況

津市

実施後



度会町

実施後



松阪市

県民税 P R (伐採実施中)



多気町

県民税 P R (伐採実施中)



令和3年度災害からライフラインを守る事前伐採 ポスター等展示

県庁（県民ホール）



展示ポスター

みえ 森と緑の県民税 市町交付金（防災枠）事業の取組

令和2年度から、電力会社等のライフライン事業者や市町と連携し、台風などの倒木被害により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を実施し、台風等に伴う大規模停電の未然防止などに取り組んでいます。

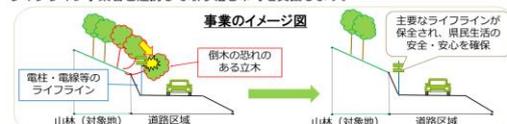
災害からライフラインを守る事前伐採事業

事業創設の経緯

令和元年の台風15号では、千葉県を中心に大規模かつ長期的な停電が発生しました。また、三重県でも、平成30年の台風で約28万戸が停電する被害が発生し、特に山間部ではその原因の約80%が倒木によるものでした。このような被害を未然に防止するため、災害に強い森林づくりの一環として、市町やライフライン事業者と連携して、「災害からライフラインを守る事前伐採事業」に取り組むこととしました。

事業の内容

台風などの倒木被害により、電気などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採にライフライン事業者と連携して取り組む市町を支援します。



事業実施状況

実施年度	実施市町数	伐採本数
令和2年度	6 市町	2,285 本
令和3年度（計画）	10 市町	3,072 本



松阪市乙栗子（実施前）



松阪市乙栗子（実施後）



大台町岩井（実施中）



大台町岩井（実施中）

県民税 P R（マルタピア）



県印税 P R（県伊賀庁舎）



みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業 県ホームページによる情報発信

現在位置： [トップページ](#) > [観光・産業・しごと](#) > [森林・林業](#) > [みんなで支える森林づくり](#) > [みえ森と緑の県民税](#) > [みえ森と緑の県民税とは](#) > [みえ森と緑の県民税](#)

担当所属： [県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [みどり共生推進課](#) > [みどり推進班](#)

LINEで送る 印刷する

みえ森と緑の県民税

- トピックス
- みえ森と緑の県民税とは
- 県の事業
- 市町の事業
- 県・市町の連携事業
- 評価制度
- 導入経緯と見直し

三重の農林水産業：三重の森林づくり

三重の森林づくり

みえ森と緑の県民税

森林には、きれいな水を貯える機能や地球温暖化の防止、県土の保全、癒しや健康増進など、私たちが健康で快適な生活を送るために欠かすことのできない大切な働きがあります。

しかし、山村地域の過疎化や林業の不振などにより手入れが不足した荒廃森林が増えています。異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

そこで県では、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、「みえ森と緑の県民税」を平成26年4月1日から導入しました。

画像をクリックするとプロモーション動画



下へスクロール

- [Link](#) **みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業**
 森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等とパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、市町交付金を活用することで、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開します。
- みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業：流域防災機能強化対策事業**
 山腹崩壊の発生源となる斜面上部の0次谷の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある渓流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図ります。
[PDF](#) 流域防災機能強化対策事業の概要
- みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業：森林再生力強化対策事業**
 森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図ります。
[PDF](#) 森林再生力強化対策事業の概要
- みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業の取組実績**
[PDF](#) 令和元年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業取組実績一覧
[PDF](#) 令和2年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業取組実績一覧
[PDF](#) 令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業取組実績一覧
- 災害からライフラインを守る事前伐採事業（みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業）**
 市町がライフライン事業者及び県と締結する協定に基づき、台風等の倒木によりライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採します。
[PDF](#) 災害からライフラインを守る事前伐採事業の概要
[PDF](#) 令和2年度災害からライフラインを守る事前伐採事業取組実績一覧
[PDF](#) 令和3年度災害からライフラインを守る事前伐採事業取組実績一覧

[リンク](#)

■ **みえ森と緑の県民税を活用した取組の評価について**

みえ森と緑の県民税を活用した取組の実績等について県民の皆さんに対して明らかにすることが重要です。このため、実施後の評価等について調査審議する機関として、第三者から構成される「みえ森と緑の県民税評価委員会」を設

みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業
 県ホームページによる情報発信

[リンク](#)

令和3年度 災害からライフラインを守る事前伐採事業 実施結果

市町	事業量		事業費	
	伐採本数（本）	面積（ha）	総事業費（円）	左記のうち 防災枠交付金額（円）
四日市市	48本	-	6,245,800	1,561,450
鈴鹿市	6本	-	2,948,000	737,000
亀山市	60本	0.06ha	1,221,000	305,250
菰野町	14本	0.08ha	982,085	245,521
津市	535本	0.55ha	11,379,051	2,844,762
松阪市	1,007本	1.30ha	12,198,977	3,000,000
多気町	69本	0.05ha	1,188,000	275,000
大台町	608本	0.38ha	14,159,707	3,539,000
度会町	364本	-	3,877,961	969,000
名張市	200本	0.17ha	3,711,400	927,850
計	2,911本	2.59ha	57,911,981	14,404,833

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

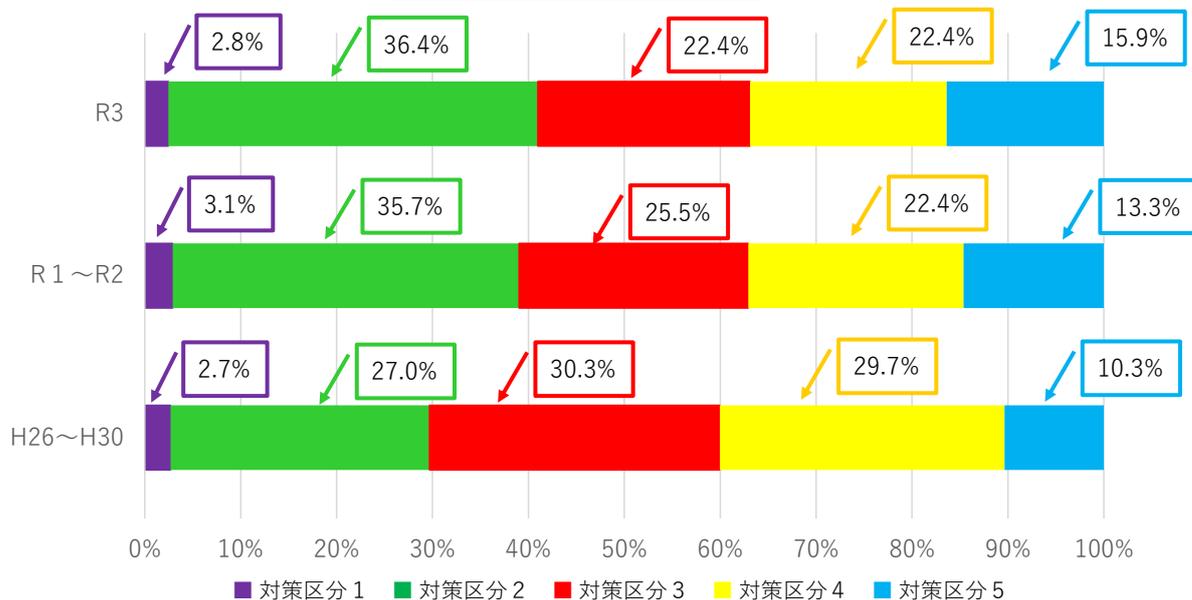
みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別一覧（基金活用額を含む）

対策区分	対策内容	活用額（円）			事業数（事業）		
		H26～H30	R 1～R2	R3	H26～H30	R 1～R2	R3
1	土砂や流木を出さない森林づくり	49,866,157	26,979,137	31,152,636	14	6	3
2	暮らしに身近な森林づくり	635,878,895	311,141,346	153,531,279	141	74	47
3	森を育む人づくり	423,275,715	41,803,079	22,786,619	158	49	27
4	森と人をつなぐ学びの場づくり	1,168,678,649	173,399,269	61,959,298	155	46	25
5	地域の身近な水や緑の環境づくり	207,975,329	77,501,153	59,477,795	54	30	20
合計		2,485,674,745	630,823,984	328,907,627	522	205	16

対策区分別事業費割合（％）



対策区分別事業数割合（％）



令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別一覧

対策区分 1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり

市町名	対策区分	市町事業名	財源区分		事業内容
			当年度交付金活用額（円）	基金活用額（円）	
津市	1	津市林地残材搬出促進事業	28,594,536		事業者が実施する、未利用間伐材を木質バイオマス利用するための搬出に対する支援
大紀町	1	溪流倒木等処理事業	1,413,000		町が実施する山間部溪流沿い等の倒木や流木を除去
紀北町	1	河川周辺森林立枯木整備事業	1,145,100		町が実施する、河川沿いの枯損木の伐採・搬出
対策区分計			31,152,636	0	3市町、3事業

対策区分 2：暮らしに身近な森林づくり

市町名	対策区分	市町事業名	財源区分		事業内容
			当年度交付金活用額（円）	基金活用額（円）	
			基本枠		
四日市市	2	小学校支障木伐採業務委託	3,261,500		市が実施する、小学校における危険木の伐採等
四日市市	2	中学校支障木伐採業務委託	4,286,700		市が実施する、中学校における危険木の伐採等
四日市市	2	都市公園危険木処理事業	4,453,900		市が実施する、都市公園の危険木の伐採等
四日市市	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,145,000		活動団体が実施する、里山や竹林の整備に対する支援
四日市市	2	危険木等除去支援事業	100,000		自治会等が実施する、道路沿いの危険木の伐採等に対する支援
四日市市	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,360,900	200,550	市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
桑名市	2	里山再生・竹林整備推進事業	4,931,000		市が活動団体に委託して実施する、荒廃した竹林の整備
鈴鹿市	2	暮らしを守る森林保全事業	595,200	1,000	市が実施する、海岸林における樹幹注入と病害虫被害木の伐採
鈴鹿市	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	737,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
亀山市	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	2,000,000		市が実施する、公共施設周辺や道路沿いの危険木の伐採等
亀山市	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	305,250		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
いなべ市	2	危険木の除去事業	5,283,850		自治会等が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援
いなべ市	2	危険木の除去事業（主要道路）	2,003,359	9,332,911	市が実施する、主要道路の交通の支障になる危険木の伐採・除去
いなべ市	2	鳥獣害につよい森林整備事業	2,592,700		市が実施する、鳥獣害防止のための森林整備（間伐等）
木曾岬町	2	暮らしを守る緑保全事業	5,349,000	8,767,311	市が実施する、クビアカツヤカミキリによる被害から桜並木を保全するための取組
東員町	2	危険木伐倒等業務	1,309,000		町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等
菰野町	2	病害虫被害木伐採搬出事業	1,103,000		土地所有者等が実施する、病害虫による被害木の伐採等への支援
菰野町	2	危険樹木伐採事業	245,522		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
津市	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,844,764		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
松阪市	2	里山の森林安全安心対策事業	12,873,600		市が実施する、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等
松阪市	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
多気町	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	275,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採

明和町	2	松林整備事業	1,991,000		町が実施する、海岸沿いの松林における地上散布・被害木の伐採等
大台町	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,541,707		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
大台町	2	集落周辺等危険木伐採事業	9,315,893		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採
伊勢市	2	森林整備事業	7,265,500		市が実施する海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等
鳥羽市	2	危険木伐採事業	6,476,702		市が実施する、人家裏や通学路等に隣接する危険木の伐採。町内会・自治会が実施する危険木の伐採に対する支援
鳥羽市	2	森林病害虫防除樹幹注入業務委託	493,900		市が実施する病害虫被害防止のための樹幹注入
志摩市	2	災害に強い森林づくり事業	4,622,000		市が実施する、人家裏や道路沿いの危険木の伐採
志摩市	2	松くい虫防除事業	1,171,000		市が実施する、公園や景勝地の松林における樹幹注入と被害木伐採
度会町	2	危険木伐採事業	1,760,000		町が実施する、生活道路沿いの危険木の除去
度会町	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	969,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
大紀町	2	生活環境林整備事業	3,541,000		町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の除去
南伊勢町	2	危険木除去事業	2,377,000		町が実施する、公共施設周辺や通学路、避難路等の危険木除去
名張市	2	危険木伐採事業	3,453,200		市が実施する、公共施設周辺及び通学路沿い等の危険木の伐採
名張市	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	503,925		森林所有者等が実施する、放置された未利用間伐材の搬出に対する支援
名張市	2	人家裏危険木伐採事業	2,050,000		地域住民が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援
名張市	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	927,850		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採
伊賀市	2	みんなの里山整備活動推進事業	6,569,000		自治会等が実施する、里山・竹林整備に対する支援
伊賀市	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,486,580		森林所有者等が実施する、放置された未利用間伐材の搬出に対する支援
尾鷲市	2	人家裏危険木伐採事業	1,277,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木伐採に対する支援
尾鷲市	2	野路町駅前児童公園ほか整備事業	3,762,000		市が実施する、公園における危険木の伐採等
紀北町	2	危険木伐採事業	1,893,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援
紀北町	2	集落周辺森林（里山）整備事業	101,100		活動団体等が実施する、集落周辺等の荒廃した森林の整備や歩道整備に対する支援
熊野市	2	森林病害虫等防除実施事業	1,523,500		市が実施する、松くい虫防除のための薬剤注入と伐倒・くん蒸
熊野市	2	暮らしを守る危険木伐採事業	502,700		市が実施する、集落間を結ぶ生活道路沿いにおける危険木の伐採等
紀宝町	2	生活環境林整備事業	3,598,705		町が実施する、公共施設の周辺や生活道路沿いの危険木の伐採等
対策区分計			135,229,507	18,301,772	25市町、47事業

対策区分3：森を育む人づくり

市町名	対策区分	市町事業名	財源区分		事業内容
			当年度交付金活用額(円)	基金活用額	
			基本枠	(円)	
鈴鹿市	3	森林環境教育支援事業	100,000		市民団体が実施する、県産材を使った木工体験への支援
鈴鹿市	3	国体スタッフ木製記念品配布事業		1,309,000	市が実施する、国体スタッフへの木製記念品配布
鈴鹿市	3	森と緑の生涯学習事業	770,000		市が実施する、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催
亀山市	3	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)	1,000,000		協議会が実施する、森林や木材とふれあうイベント等の開催
いなべ市	3	中学校卒業記念品配布事業	917,950		市が実施する、市産材で作成した記念品(箸)の中学卒業生への配布
いなべ市	3	森林環境教育支援事業	101,141		市が実施する、小学校における森林教育
朝日町	3	森林環境教育事業(あさひ竹プロジェクト)	3,400,000		町が実施する、竹を活用したイベントやワークショップの開催
川越町	3	川越北小学校自然教室	575,000		町が実施する、川越北小学校の5年生を対象とした野外体験
川越町	3	川越南小学校自然教室	335,000		町が実施する、川越南小学校の5年生を対象とした野外体験
津市	3	津市森林環境教育事業	480,700		市が実施する、「森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催
津市	3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000		地元協議会が実施する、美里水源の森における林業体験への支援
松阪市	3	森林環境学習事業	2,875,400		市が実施する、小学生を対象とした森林教育
松阪市	3	松阪の木魅力発信活動事業	100,000		地域団体が実施する、「松阪の木」の魅力を発信するイベントへの支援
大台町	3	森林環境教育事業	675,400		町が実施する、地元高校生によるキノコ栽培の体験学習
伊勢市	3	三重とこわか国体おもてなし事業	616,000		市が実施する、三重とこわか国体参加者への木製記念品配布
志摩市	3	森と緑ふれあい事業	570,000		市が実施する、木工体験や森林にふれあう体験学習
玉城町	3	森林環境教育・木育事業	341,132		町が保育園や小学校で実施する、森林教育。
度会町	3	森林環境教育推進事業	199,000		町が実施する、小学生を対象とした森林・林業に関する出前授業の実施
南伊勢町	3	森林環境教育事業	454,000		森や緑について学び、森林や木材にふれあうことを目的とした木育教育の実施
名張市	3	森林環境教育推進事業	100,000		学校単位の実行委員会等が実施する、小学校における森林教育に対する支援
伊賀市	3	親子ではじめる木育推進事業	1,551,160		市が実施する、出生児・一歳児・三歳児を対象とした木製記念品(写真立て等)の配布
伊賀市	3	伊賀の森っこ育成推進事業	2,080,288		実行委員会が実施する、小中学校における森林教育に対する支援
伊賀市	3	地域の森と緑のつながり支援事業	250,000		町が実施する、森林づくりに関する大学との共同研究(森林関連イベント開催等に対する支援実績はなし)
伊賀市	3	森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)	699,994		地域団体が高校生と連携して実施する、地域材を活用した木製品開発に対する支援
尾鷲市	3	木とふれあう学校環境づくり事業	136,400		市が実施する、過去に市町交付金事業で導入した机・椅子の維持管理
紀北町	3	森林環境教育活動支援事業	520,974		町が実施する、小中学生を対象とした森林教育
熊野市	3	クマノザクラ整備・保全管理等事業	2,378,080		市が実施する、クマノザクラのポット苗の設置と保全
対策区分計			21,477,619	1,309,000	18市町、27事業

対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名	対策区分	市町事業名	財源区分		事業内容
			当年度交付金活用額 (円)	基金活用額	
			基本枠	(円)	
四日市市	4	認定こども園備品整備事業	5,720,000		市が実施する、認定こども園における木製備品（机・椅子等）の導入
四日市市	4	木とふれあう環境づくり事業（少年自然の家管理運営費）	1,804,000		市が実施する、自然の家における木製備品（机・椅子等）の導入
四日市市	4	木とふれあう環境づくり事業（市民活動センター運営費）	869,000		市が実施する、市民活動センターへの木製ルーバーパネルの設置
桑名市	4	学校の森 再生事業	3,055,000		私立小学校が実施する、学校林整備への支援
鈴鹿市	4	馬場公園木製休憩所設置事業	2,000,000		地域づくり協議会が実施する、公園への東屋設置に対する支援
鈴鹿市	4	図書館木製備品購入事業	877,800		市が実施する、図書館への木製備品（書架）の導入
鈴鹿市	4	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置事業	2,200,000		市が実施する、保育所や幼稚園における木製備品（下駄箱）の導入
亀山市	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,480,050		市が実施する、幼稚園や保育園における木製遊具の組立イベント開催と木製遊具の導入
亀山市	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	1,356,700		市が実施する、森林公園の八橋のリニューアル
亀山市	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（JR加太駅舎改修）	1,000,000		市が実施する、駅舎改修に伴う木製備品（机・椅子）の導入
東員町	4	教育施設の備品等購入	5,153,000	1,499,000	町が実施する、保育園・幼稚園への木製遊具の導入
東員町	4	公園施設の備品等購入		3,316,000	町が実施する、公園への木製備品の導入
朝日町	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,745,548		町が実施する、子育て施設（あさひ園）の芝生の維持管理
朝日町	4	森と緑を大切に思う人づくり事業（教育文化施設）	180,000		町が実施する、子育て施設（あさひ園）への木製備品の導入
川越町	4	川越南小学校図書室机・椅子整備事業	3,760,000		町が実施する、小学校の図書館における木製備品（机・椅子）の導入
川越町	4	総合センター椅子整備事業	268,000		町が実施する、総合センターへの木製備品の導入
松阪市	4	保育園木育推進事業	2,000,000		市が実施する、保育園への木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ
多気町	4	木とふれあう環境づくり事業	6,281,000		町が実施する、小学校や保育園等への木製備品の導入
志摩市	4	観光農園木製品購入	960,000		市が実施する、公共施設における木製の遊具やベンチの導入
玉城町	4	公共施設整備事業	278,300		町が実施する、公共施設の内装の木質化に向けた設計。
度会町	4	県産材を活用した木製備品整備事業	5,072,000		町が実施する、小学校や保育園等への木製備品の導入
名張市	4	学校林整備事業	900,000		活動団体が実施する、学校林における遊歩道、広場等の整備に対する支援
御浜町	4	道の駅等木製看板設置事業	2,285,900	2,291,600	町が実施する、道の駅への県産材の看板設置
御浜町	4	中央公民館木質化事業	3,091,800		町が実施する、公民館への県産材を活用した木製品の導入
紀宝町	4	放課後児童クラブ施設木製品購入事業	602,600	1,912,000	町が実施する、放課後児童クラブにおける木製備品（机・椅子）の導入
対策区分計			52,940,698	9,018,600	15市町、25事業

対策区分 5：地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名	対策区分	市町事業名	財源区分		事業内容
			当年度交付金活用額 (円)	基金活用額 (円)	
			基本枠		
桑名市	5	播磨 2 号緑地里山整備事業	534,000		市が活動団体に委託して実施する、森林公園内の散策路整備等
鈴鹿市	5	ふるさとの木 (名木古木) 保存活用事業補助事業	3,278,000		地域等が行う天然記念物等の樹木の診断や治療等への支援
鈴鹿市	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	722,000		市が実施する、地域のシンボルツリーである長太の大楠の診断と治療等
鈴鹿市	5	ホテルの里森林及び生物観察用橋設置事業	2,000,000		地域づくり協議会が実施する、生物観察等のための木製橋の設置等への支援
菰野町	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	4,862,000		町が実施する、菰野富士におけるバリアフリー木道の整備
松阪市	5	都市公園整備事業	2,000,000		市が実施する、都市公園内への木製ベンチの設置
松阪市	5	松浦武二郎記念館木育推進事業	3,000,000		市が実施する、資料館における東屋の設置
明和町	5	木質構造物整備事業	5,354,000	5,941,400	町が実施する、公園広場における東屋や歩道の整備
志摩市	5	創造の森横山遊歩道整備事業	3,000,000		市が実施する、創造の森横山の遊歩道整備
度会町	5	森と人が共存する環境づくり事業	726,000		町が実施する、登山歩道への登山ポストの設置
南伊勢町	5	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,685,000		町が実施する、公園へのウッドチップ舗装の整備
名張市	5	森林公園等環境活用整備事業	940,000		地域づくり組織が実施する、森林公園等の整備に対する支援
名張市	5	桜並木保全管理事業	300,000		活動団体が実施する、桜並木保全活動に対する支援
名張市	5	無形民俗文化財保全事業	300,000		活動団体が実施する、無形文化財保全に向けた森林整備に対する支援
尾鷲市	5	野鳥の小径遊歩道等整備事業	1,611,500		市が実施する、森林公園の案内看板の設置
尾鷲市	5	中村山公園整備事業	1,980,000		市が実施する、中村山公園の整備 (危険木の伐採等)
熊野市	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	8,824,120	2,225,180	市が協力団体と連携して実施する、森や緑と触れ合える森林公園の整備
熊野市	5	景勝林等保護事業	1,205,600		市が実施する、鬼ヶ城園地におけるサクラの保全
御浜町	5	森林公園等環境整備事業	1,697,300		町が実施する、住民に親しまれている身近な登山道と隣接する公園の整備
紀宝町	5	クマノザクラ整備事業	291,695		町が活動団体と連携して実施する、クマノザクラの植栽と適正管理
対策区分計			51,311,215	8,166,580	13市町、20事業

その他、みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業

市町名	対策区分	市町事業名	財源区分		事業内容
			当年度交付金活用額 (円)	基金活用額	
			基本枠	(円)	
桑名市	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,113,000		公共施設を木造・木質化するための基金積立
鈴鹿市	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	3,633,000		登山道における案内看板の整備等のための基金積立
亀山市	9	みえ森と緑の県民税基金積立	4,000,000		図書館に木製備品を導入するための基金積立
菰野町	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立	2,558,478		菰野富士におけるバリアフリー木道整備のための基金積立
朝日町	9	里山再生整備事業 (基金積立事業)	295,452		竹林整備に対する支援のための基金積立
川越町	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立	10,073,000		あいあいホールの内装木質化のための基金積立
多気町	9	基金積立	954,000		小中学校などに木製遊具や木製備品を導入するための基金積立
伊勢市	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	7,268,500		危険木伐採のための基金積立
鳥羽市	9	基金積立事業	1,212,398		危険木伐採のための基金積立
玉城町	9	基金積立	5,594,568		市が実施する、公共施設の内装の木質化のための基金積立。
大紀町	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	6,373,000		水源林の公有林化のための基金積立
名張市	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	1,797,025		木製遊具の導入のための基金積立
伊賀市	9	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,661,978		放置された未利用間伐材の搬出に対する支援のための基金積立
尾鷲市	9	基金積立	1,477,100		ライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採事業のための基金積立
紀北町	9	基金積立	7,373,826		町内学校等の木質化のための基金積立
紀宝町	9	基金積立	2,842,000		公共施設の周辺や生活道路沿いの危険木伐採のための基金積立
基金積立 計			63,227,325	0	16市町